



創立30周年を祝して

関西大学校友会

会長 榎本 信雄

母校の体育会には、輝かしい歴史と伝統を持つ多くの部があるが、レスリング部は、その顕著な一つである。昭和23年部に昇格したので、今年30周年を迎えることになったが、其の間、第一次、二次、三次の黄金時代を築き、リーグの優勝27回、その内5連勝2回、12連勝を1回という、誇るべき記録を有している。なお部員の活躍は単に国内ばかりでなく、海外にも遠征し、世界各地で開催された選手権大会でも、優秀な成績を収めている。中でも、市口政光君は、東京オリンピック大会で、バンタム級の金メダルを獲得し、関大レスリング部ばかりでなく、母校関大の名を、広く全世界に知らしめた功績は、特筆すべきである。

校友会では、先年校友総会に於て、市口君の名誉を表彰し、その喜びを分かちあったのであるが、校友会にとっても、恐らく空前絶後のことと思われるのである。

また、関大レスリング部の先輩は、日本アマチュアレスリング協会、全日本学生レスリング連盟、西日本学生レスリング連盟、大阪府アマチュアレスリング協会等の会長、その他の重要役員となり、我国レスリングの発展向上に、多大の貢献をしているのである。

しかし、関大レスリング部の斯る偉大な業績と栄誉は、決して一日でなるものではなく、歴代の部長、其の他の部員諸君の、一致団結と、不断の努力の賜である。

申すまでもなく、学生スポーツは勝利の外に、身心の鍛練による、人間形成という重要な目的を持っている。

私は、部員諸君が、今後益々精進努力して、スポーツ関大の声価を、更に高めることを祈ると共に、創立30周年を心からお祝いする次第である。